

令和 2 年 度

# 決 算 報 告 書

第 17 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

国立大学法人 東海国立大学機構

# 令和2年度 決算報告書

国立大学法人 東海国立大学機構

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入	154,159	168,191	14,032	
運営費交付金	41,108	41,673	565	(注1)
施設整備費補助金	4,263	3,710	△553	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	5,477	11,526	6,049	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	105	166	61	(注4)
自己収入	79,364	76,671	△2,693	
授業料、入学金及び検定料収入	12,745	12,600	△145	(注5)
附属病院収入	63,754	60,369	△3,385	(注6)
財産処分収入	—	452	452	(注7)
雑収入	2,865	3,250	385	(注8)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	21,177	31,899	10,722	(注9)
引当金取崩	560	651	91	(注10)
長期借入金収入	1,559	1,559	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	546	336	△210	
計	154,159	168,191	14,032	
支出	154,159	153,863	△296	
業務費	116,150	109,797	△6,353	
教育研究経費	56,801	52,108	△4,693	(注11)
診療経費	59,349	57,689	△1,660	(注12)
施設整備費	5,926	5,435	△491	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	5,477	11,122	5,645	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	21,177	22,078	901	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,429	5,210	△219	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	221	221	(注17)
計	154,159	153,863	△296	
収入 - 支出	—	14,328	14,328	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金債務の繰越額が増額されたことや、退職手当・授業料免除分の追加配分があったため、予算額に比して決算額が565百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の一部が計画変更により繰越となったため、予算額に比して決算額が553百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国・地方自治体からの補助金交付があったため、予算額に比して決算額が6,049百万円多額となっております。なお、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が404百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階では予定していなかった施設費の交付があったため、予算額に比して決算額が61百万円多額となっております。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して145百万円少額となっております。
- (注6) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予算額に比して決算額が3,385百万円少額となっております。
- (注7) 学校財産処分収入については、予算段階では予定していなかった土地売却(高田町団地ほか)により、予算額に比して決算額が452百万円多額となっております。
- (注8) 雑収入については、著作権及特許権等収入、学校財産貸付料収入及び雑入、学内保有資金の取崩、動物病院収入等の増収により、予算額に比して決算額が385百万円多額となっております。
- (注9) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算作成時に予定しなかった受託研究及び共同研究、寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が10,722百万円多額となっております。なお、受託研究費等の前年度からの繰越額は5,774百万円となっております。
- (注10) 引当金取崩については、対象者の増加等により、予算額に比して決算額が91百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による執行計画の見直しを実施したことにより、予算額に比して決算額が4,693百万円少額となっております。
- (注12) 診療経費については、病院収入の減等により、予算額に比して決算額が1,660百万円少額となっております。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が491百万円少額となっております。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が5,645百万円多額となっております。
- (注15) (注9)に示した理由等により、予算額に比して決算額が901百万円多額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直しなどにより、予算額に比して決算額が219百万円少額となっております。
- (注17) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が221百万円多額となっております。